



「挑戦」

校長 嶋田 一郎

今年の全英テニス、ウィンブルドン選手権に出場した25歳のマークス・ウィリス選手のことを新聞に載っていた。ウィリス選手は、男子シングルスで世界ランキング772位。普段はテニスクラブで子供たちを指導して生計を立てている。大会前の今季の賞金総額はわずか356ドル(約3万7千円)である。「人生の負け組だった」と語る無名の男は、恋人に励まされて今回最後のチャンスにかけた。予備予選を勝ち上がり、本戦も初戦を突破して、2回線ではテニス選手の憧れのセンターコートに立った。相手は四大大会17度優勝のフェデラー選手だった。

この日の試合はポイントを重ねるごとに観客から大声援を集めた。試合はストレート負けしたものの、会場からは大きな歓声と拍手が送られた。勝者よりも敗者の方に、たくさんの称賛が送られた。結果よりも戦う姿が人々を感動させる。そんな試合だった。

ウィリス選手は「少年時代からの夢がかなった。信じられないことだ」と語った。諦めかけたプロの競技生活も「まだ、挑戦したい」と意欲を示した。

みなさんに考えてもらいたい。試合に勝つことは大事である。しかし、そのこと以上に試合に臨む態度、試合のマナー等、高校生らしいさわやかな印象を与えるような行動をとって欲しい。ウィリス選手のように、何事においても、負けても戦う姿が人々を感動させる人物になって欲しい。今後、各部活動の選手諸君は新しいメンバーでの出発となるが、このことに「挑戦」していくことを望む。

夏休み期間中に「自分探し」をしよう

7月21日(木)から夏季休業に入りました。部活動をしている生徒の多くは、2年生を中心とした新チームで、猛暑の中、汗を流して練習に励んでいることと思います。

3年生の皆さんは、9月からの就職試験に向け、25日(月)から「就職・進学合宿」が実施されました。面接指導、学力向上が主な内容です。(詳細は次号掲載)

3年間、部活動に励んだ人、また、遠距離のためスクールバスを利用し、毎日、休まず登校してきた人など、多くの生徒諸君は「自分の目標」に向かってしっかりと計画を立て、努力していることと思います。「目標」を持たず迷っている人は、担任や進路の先生に相談し、この夏休みに様々な経験を積み「自分探し」をしてみましょう。

夏休み明けに、君たちが大きく変化している姿を期待しています。

各学年部長のメッセージ

第1学年主任 柴山 大志先生

高校生活で最初の夏休みは、充実しているでしょうか。これまで以上に部活動に取り組む人、初めて欠点(赤点)というものを経験し、苦手教科の克服に励む人など様々だと思います。

この夏、入道雲のように一回りも二回りも大きく成長してください。

第2学年主任 岩本 英則先生

夏休み、どのように過ごしているでしょうか。

部活動や家事手伝い等、普段、できなかったことを、この長期休暇を利用して、精一杯やって欲しいと思います。

皆さんにとって、有意義な夏休みであることを願っています。

第3学年主任 松永 覚先生

皆さんには、今年の就職試験もかなり厳しいものだということを、何回も説明し、奮起・努力を呼びかけてきました。おかげで、3学年次の欠席数・欠点者数共に減少し、早期に進路活動に取り組む生徒が増えました。現在も進路に対して真剣に考えている生徒の中には、先生方や進路指導室に相談に行く姿が数多く見られます。

生徒全員の進路決定を目指し、面接指導を重点に学習の強化指導を図ります。

平成28年度第1回オープンスクールを開催

7月22日(金)、中学3年生を対象に第1回「オープンスクール」を開催しました。

今年度は、297名と各中学校から多数の御参加をいただき、誠にありがとうございました。

当日は晴天に恵まれ、各科の授業体験、部活動体験の2コースに分けて実施したところ、中学生のアンケートからは「楽しかった」、「部活動体験の時間をもっと増やして欲しい」等の意見もいただきました。

